

V. 調査票

障害児支援を行う職員についての実態調査

(事業所調査)

【ご回答方法】

■以下の Google フォームから回答をお願いします。

障害児支援を行う職員についての実態調査



<https://forms.gle/XcNYEWdGcpDmS1T47>

【ご回答上の留意点】

■本調査は、貴事業所の管理者様または児童発達支援管理責任者様にご回答をお願いいたします。回答は貴担当事業所内についてお考えください。

■調査は途中での一時保存はできません。 回答を開始する前に、調査票をご覧ください、回答を準備してから開始してください。

■1事業所あたり、回答は1回でお願いいたします。なお、同じ施設・事業名で重複回答があった場合には、新しいものを優先させていただきます。

■本調査は、2022（令和4）年9月16日（金）15時までにご回答をお願いいたします。

【本調査について】

■本調査は、1年・3年・5年・7年・10年以上の障害児支援の経験を有する職員が、障害児支援の現場で、どのような職務を担い、実行しているのか、平均的な実態（傾向）を把握するための調査です。期待ではなく、貴事業所の実態（実際にやっていること）についてご回答をお願いいたします。

■各事業所の管理者においては、所属する職員の平均的な実態について、管理者の把握する範囲で回答をお願いします。職員一人一人に確認する必要はありません。

■経験とは、障害児支援の経験を指します。他事業所における障害児支援の経験も含まれます。

■職員個人によってばらつきがある場合は、平均を回答してください。（例：「家族に対して相談および助言、必要な情報提供（福祉制度等を含む。）を行っている。」という質問について、3年目の職員が3

(5) 事業所の定員数

多機能型の場合や重度心身型などすべて併せた定員数を回答ください。

～10名 11名～20名 21名～30名 31名～40名 41名～50名 51名～

(6) 事業所の開設年

プルダウンで選択 (1970～2022)

(7) 運営主体

自治体 社会福祉法人 (社会福祉業団、社会福祉協議会を除く) 株式会社

NPO法人 合同会社 一般社団法人 有限会社

その他 ()

(8) 行える医療行為

喀痰吸引 経管栄養 人工呼吸器 酸素療法

医ケア児を受け入れる準備はあるが在籍はない 医ケア児の受け入れは行っていない

その他 ()

(9) 職員配置 (管理者・児発管を除く直接支援職員)

配置されている職員をすべて選択してください。

保育士

児童指導員 (機能訓練担当や看護職含まず)

理学療法士

作業療法士

言語聴覚士

心理担当職員

看護職

社会福祉士

その他 ()

(10)回答者

本調査の回答者の役職についてご回答ください。なお、本調査の回答は事業所の管理者または児童発達支援管理責任者のいずれかにてお願いいたします。

①管理者

②児童発達支援管理責任者

(11) 施設・事業所名

注) 本調査は、全体の傾向を把握するために実施しており、施設・事業所の個別状況を把握するものではありません。「施設・事業所名」は、重複登録の確認のみに用います。ご記載をお願いできればと思いますが、記載は任意です。

(12) 施設・事業所名 (ふりがな)

1. 職種共通

次の内容（発達支援・家族支援・地域支援・事業運営等）について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員が該当しますか。項目ごとに一つ選択してください。

回答に当たって

- ・「1. 職種共通」については、職員の資格や職種を問いません。職員の資格や職種を問わず、貴事業所における障害児支援に携わる職員の平均的な実態を念頭にご回答ください。
- ・本調査は、1年・3年・5年・7年・10年以上の障害児支援の経験を有する職員が、障害児支援の現場で、どのような職務を担い、実行しているのか、平均的な実態（傾向）を把握するための調査です。期待ではなく、貴事業所の実態（実際にやっていること）についてご回答をお願いいたします。
- ・本調査における「適切に支援する」「適切な支援」等は、周囲からのサポートがなしで自ら主体的に実践することを指します。
- ・事業所で該当業務を行っていない場合は「該当なし」を選択してください。

（1）発達支援

- ① 個別支援計画の作成を児童発達支援管理責任者に提案・協力し、計画に沿った支援を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ② 食育のねらいを理解し、健康状態、発育・発達段階に応じた食事内容、食物形態、偏食指導などを工夫して適切に支援しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ③ 日々の心身の健康状態（発熱等）を把握し、健康状態のチェック（視診）と必要な対応を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ④ 睡眠、食事、排泄、着脱、清潔などの基本的な生活スキルを獲得できるよう個々に応じて適切に支援しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑤ 日常生活に必要な姿勢保持や上下肢の運動、動作の改善、関節の拘縮変形予防、筋力の維持・強化等に対して適切な方法で支援しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さに対する適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑦ 指差し、身振り、サインなどを用いて意志の伝達ができるよう、話し言葉や文字、絵、写真などを用いて受容し表出する支援を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑧ 子どもが周囲の大人や子どもと安定した関係を形成するために適切に支援しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑨ 子どもの遊びの発達を理解し、発達段階や興味関心に応じて適切な方法を工夫して支援しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑩ 集団活動に参加するための手順やルールを分かりやすくする工夫をして適切に支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑪ 子どもの行動の課題（多動・他害・自傷等を含む）の原因を理解して、適切な方法で支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑫ 子どもの困り感に対して、環境や人との関係性との相互作用、発達段階及び発達特性を捉えて適切に支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑬ 子どもの行動や特徴を理解して、気持ちや情動のコントロールができるように適切な支援しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑭ 子ども理解のための各年齢やライフステージでの標準的な発達を理解しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑮ 移行期（幼児期から小学校、小学校から中学校、就労など）の環境変化の不安や期待・課題等を捉え、連携も含めた適切な支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑯ 子どもの心理的課題・メンタルヘルス（摂食障害等の心身症、睡眠障害、自傷、情緒不安定、反抗挑発等）を理解し、適切に支援しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑰ 服薬やアレルギー、てんかん発作等のこどもの健康等に関する状況を把握しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑱ 下記について理解し、適切な配慮と適切な支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。

	3か月以上	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	該当なし
発達障害（自閉スペクトラム症・ADHD）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

知的障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
肢体不自由	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重症心身障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
医療的ケア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
聴覚障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
視覚障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
マルトリートメント（虐待等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

（２）家族支援

- ① クラスだより等を発行したり連絡帳を通して適切に情報を発信しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ② 事業所だより等の中で事務連絡にとどまらず子どもの発達の見方や発達等について適切に情報を発信しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ③ 家族が子育てをするための必要な情報提供（福祉制度等を含む）を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ④ 保護者の思いと悩みを共有し、適切に心理的サポートを行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑤ 移行期において保護者が移行先を適切に選択できるよう適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ 家族支援プログラム（例：ペアレントトレーニング）を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑦ 虐待のリスクのアセスメントをし、適切な対応をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

(3) 地域支援

- ① 担当しているお子さんが在籍している機関（保育所・幼稚園・学校・放課後児童クラブ等）と適切に連携をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ② 関係機関（行政・医療・保健所・児童相談所等）と適切に連携をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ③ 移行先（保育所・幼稚園・学校・就労先等）への具体的な調整や情報の共有を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ④ 保育所等訪問支援・地域療育支援事業など制度面での役割を担っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑤ 地域の機関（他事業所や保育所等）へ訪問して適切にスーパーバイズしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ 自立支援協議会や子ども部会、要保護児童対策協議会等へ参加しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

(4) 事業運営等（施設整備・安全対策・保健衛生・運営管理・倫理等）

- ① 障害特性を踏まえた安心安全な環境改善を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ② ガイドラインに基づいた事業所全体による自己評価等において、課題等の抽出や、改善の提案を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ③ タイムテーブルや活動プログラムの立案をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ④ P D C A を意識して発達を支援し、かつ記録に反映しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。

- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑤ モニタリングをし、個別支援計画の変更や終結を児童発達支援管理責任者に提案・協力しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ 個人情報などの秘密保持の取り扱いを適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑦ 事故防止及び健康、安全管理に関する重要性を理解して、自ら実践しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑧ 支援の現場において多職種連携によるチームアプローチで、自らの役割を意識して参加ができるのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑨ 所属組織内の委員会等（虐待防止委員会、コンプライアンス委員会、倫理委員会等）に参加しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑩ 職場のルール及び職場倫理を理解して適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑪ 組織における役割とチームワークを理解して適切に業務にあたっているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑫ 組織としての法令遵守（コンプライアンス）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑬ 組織としてのリスクマネジメント（災害・感染症・事故等発生時対応、対策等）の重要性を理解して、そのために必要な方針と具体的な方法を作成しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

2. 職種別

(1) 保育士

(ア)－1. 貴事業所では、障害児支援に携わる保育士はいますか。

- いる → 設問 (ア)－2 へ
 いない → 設問 (ウ)－1 へ

(ア)－2. 障害児支援を行う保育士の数

① 総数	人
うち ②障害児支援の経験年数 3 か月未満	人
③障害児支援の経験年数 3 か月以上 1 年未満	人
④障害児支援の経験年数 1 年以上 3 年未満	人
⑤障害児支援の経験年数 3 年以上 5 年未満	人
⑥障害児支援の経験年数 5 年以上 7 年未満	人
⑦障害児支援の経験年数 7 年以上 10 年未満	人
⑧障害児支援の経験年数 10 年以上	人

(イ) 次の内容について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員（保育士）が該当しますか。項目ごとに一つ選択してください。事業所で該当業務を行っていない場合は「該当なし」を選択してください。

注) 経験年数は、保育士としての経験ではなく、障害児支援の経験をさします。

- ① 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、保育士としての専門性を発揮しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3 か月以上 1 年以上 3 年以上 5 年以上 7 年以上 10 年以上 該当なし
- ② 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、保育士の視点から提案しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3 か月以上 1 年以上 3 年以上 5 年以上 7 年以上 10 年以上 該当なし
- ③ 事業所内において、必要な時に、保育士の視点からコンサルテーション・助言をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3 か月以上 1 年以上 3 年以上 5 年以上 7 年以上 10 年以上 該当なし

- ④ 保育士として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑤ 保育士として標準化されたアセスメントを適切に実践しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ 保育士として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑦ 保護者に対して、保育士の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑧ 地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑨ これからの社会に求められる資質を踏まえながら、乳幼児期の子どもの発達に関する専門的知識を基に子どもの育ちを見通し、一人一人の子どもの発達を援助する知識及び技術をもって支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑩ 子どもの発達過程や意欲を踏まえ、子ども自らが生活していく力を細やかに助ける生活援助の知識及び技術をもって支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑪ 事業所内外の空間や様々な設備、遊具、素材等の物的環境、自然環境や人的環境を生かし、保育の環境を構成していく知識及び技術をもって支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑫ 子どもの経験や興味や関心に応じて、様々な遊びを豊かに展開していくための知識及び技術をもって支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑬ 保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑭ いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（保育士）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

(2) 児童指導員

(ウ) ー 1. 貴事業所では、障害児支援に携わる児童指導員はいますか。

いる → 設問(ウ)ー 2 へ

いない → 設問 (オ) ー 1 へ

(ウ)ー 2. 障害児支援を行う児童指導員の数

① 総数 人

うち ②障害児支援の経験年数 3か月未満 人

③障害児支援の経験年数 3か月以上 1年未満 人

④障害児支援の経験年数 1年以上 3年未満 人

⑤障害児支援の経験年数 3年以上 5年未満 人

⑥障害児支援の経験年数 5年以上 7年未満 人

⑦障害児支援の経験年数 7年以上 10年未満 人

⑧障害児支援の経験年数 10年以上 人

(エ) 次の内容について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員（児童指導員）が該当しますか。項目ごとに一つ選択してください。事業所で該当業務を行っていない場合は「該当なし」を選択してください。

注) 経験年数は、児童指導員としての経験ではなく、障害児支援の経験をさします。

- ① 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、児童指導員としての専門性を発揮しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ② 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どものための個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、児童指導員の視点から提案しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ③ 事業所内において、必要な時に、児童指導員の視点からコンサルテーション・助言をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ④ 児童指導員として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑤ 児童指導員として標準化されたアセスメントを適切に実践しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑥ 児童指導員として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑦ 保護者に対して、児童指導員の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑧ 地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑨ 子どもの発達について理解して適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑩ いじめ・二次障害について理解して適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑪ 保護者等への相談や困り感の高い家庭に関する知識及び技術をもって適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（児童指導員）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

(3) OT (作業療法士)

(オ) ー 1. 貴事業所では、障害児支援に携わる OT (作業療法士) はいますか。

いる → 設問(オ)ー 2 へ

いない → 設問 (キ) ー 1 へ

(オ) ー 2. 障害児支援を行う OT (作業療法士) の数

① 総数 人

うち ②障害児支援の経験年数 3 か月未満 人

③障害児支援の経験年数 3 か月以上 1 年未満 人

④障害児支援の経験年数 1 年以上 3 年未満 人

⑤障害児支援の経験年数 3 年以上 5 年未満 人

⑥障害児支援の経験年数 5 年以上 7 年未満 人

⑦障害児支援の経験年数 7 年以上 1 0 年未満 人

⑧障害児支援の経験年数 1 0 年以上 人

(カ) 次の内容について、貴事業所では、何年以上 (何か月以上) の障害児支援の経験を有する職員 (作業療法士 (OT)) が該当しますか。項目ごとに一つ選択してください。事業所で該当業務を行っていない場合は「該当なし」を選択してください。

注) 経験年数は、作業療法士 (OT) としての経験ではなく、障害児支援の経験をさします。

① 発達支援を行うクラス (グループ) の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、OT (作業療法士) としての専門性を発揮しているのは、おおよそ何年以上 (何か月以上) 障害児支援の経験のある職員 (OT (作業療法士)) ですか。

3 か月以上 1 年以上 3 年以上 5 年以上 7 年以上 1 0 年以上 該当なし

② 発達支援を行うクラス (グループ) の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、OT (作業療法士) の視点から提案しているのは、おおよそ何年以上 (何か月以上) 障害児支援の経験のある職員 (OT (作業療法士)) ですか。

3 か月以上 1 年以上 3 年以上 5 年以上 7 年以上 1 0 年以上 該当なし

③ 事業所内において、必要な時に、OT (作業療法士) の視点からコンサルテーション・助言をしているのは、おおよそ何年以上 (何か月以上) 障害児支援の経験のある職員 (OT (作業療法士)) ですか。

3 か月以上 1 年以上 3 年以上 5 年以上 7 年以上 1 0 年以上 該当なし

④ OT (作業療法士) として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしているのは、おおよそ何年以上 (何か月以上) 障害児支援の経験のある職員 (OT (作業療法士)) ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑤ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（OT（作業療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ OT（作業療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（OT（作業療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑦ 保護者に対して、OT（作業療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（OT（作業療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑧ 地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（OT（作業療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑨ ADL（日常生活動作）や活動の様子を観察し、疾患や障害特性と関連させて適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（OT（作業療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑩ 運動・感覚・遊び・情緒・認知・社会性を俯瞰的に評価し、適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（OT（作業療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑪ 車いす、IT機器、コミュニケーションツール等、代替機器を生活場面に導入する支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（OT（作業療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑫ 子どもの生理的な状況を理解し、適切な環境設定に配慮した生活場面を提供できるのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（OT（作業療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑬ 変形・拘縮などに対して適切に評価して、子どもの適切な生活環境を整えることができるのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（OT（作業療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

(4) PT (理学療法士)

(キ) ー 1. 貴事業所では、障害児支援に携わる PT (理学療法士) はいますか。

いる → 設問(キ)ー 2 へ

いない → 設問 (ケ) へ

(キ)ー 2. 障害児支援を行う PT (理学療法士) の数

① 総数 人

うち ②障害児支援の経験年数 3 か月未満 人

③障害児支援の経験年数 3 か月以上 1 年未満 人

④障害児支援の経験年数 1 年以上 3 年未満 人

⑤障害児支援の経験年数 3 年以上 5 年未満 人

⑥障害児支援の経験年数 5 年以上 7 年未満 人

⑦障害児支援の経験年数 7 年以上 1 0 年未満 人

⑧障害児支援の経験年数 1 0 年以上 人

(ク) 次の内容について、貴事業所では、何年以上 (何か月以上) の障害児支援の経験を有する職員 (PT (理学療法士)) が該当しますか。項目ごとに一つ選択してください。事業所で該当業務を行っていない場合は「該当なし」を選択してください。

注) 経験年数は、PT (理学療法士) としての経験ではなく、障害児支援の経験をさします。

① 発達支援を行うクラス (グループ) の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、PT (理学療法士) としての専門性を発揮しているのは、おおよそ何年以上 (何か月以上) 障害児支援の経験のある職員 (PT (理学療法士)) ですか。

3 か月以上 1 年以上 3 年以上 5 年以上 7 年以上 1 0 年以上 該当なし

② 発達支援を行うクラス (グループ) の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、PT (理学療法士) の視点から提案しているのは、おおよそ何年以上 (何か月以上) 障害児支援の経験のある職員 (PT (理学療法士)) ですか。

3 か月以上 1 年以上 3 年以上 5 年以上 7 年以上 1 0 年以上 該当なし

③ 事業所内において、必要な時に、PT (理学療法士) の視点からコンサルテーション・助言をしているのは、おおよそ何年以上 (何か月以上) 障害児支援の経験のある職員 (PT (理学療法士)) ですか。

3 か月以上 1 年以上 3 年以上 5 年以上 7 年以上 1 0 年以上 該当なし

- ④ PT（理学療法士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑤ PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントを適切に実践しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ PT（理学療法士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑦ 保護者に対して、PT（理学療法士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑧ 地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑨ 心身機能・運動発達について、適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑩ 生活における姿勢保持について、適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑪ 車いす、IT 機器、コミュニケーションツール等、代替機器を活用して適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑫ 地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っているのは呼吸管理が必要な子どもに対して適切に支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑬ 変形・拘縮がある子どもの身体管理を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（PT（理学療法士））ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

(5) ST（言語聴覚士）

- (ケ)ー1. 貴事業所では、障害児支援に携わる ST（言語聴覚士）はいますか。

いる → 設問(ケ)ー2へ

いない → 設問(サ)ー1へ

- (ケ)ー2. 障害児支援を行う ST（言語聴覚士）の数

① 総数 人

うち ②障害児支援の経験年数3か月未満	人
③障害児支援の経験年数3か月以上1年未満	人
④障害児支援の経験年数1年以上3年未満	人
⑤障害児支援の経験年数3年以上5年未満	人
⑥障害児支援の経験年数5年以上7年未満	人
⑦障害児支援の経験年数7年以上10年未満	人
⑧障害児支援の経験年数10年以上	人

- (コ) 次の内容について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員（ST（言語聴覚士））が該当しますか。項目ごとに一つ選択してください。事業所で該当業務を行っていない場合は「該当なし」を選択してください。

注）経験年数は、ST（言語聴覚士）としての経験ではなく、障害児支援の経験をさします。

- ① 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、ST（言語聴覚士）としての専門性を発揮しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ② 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、ST（言語聴覚士）の視点から提案しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ③ 事業所内において、必要な時に、ST（言語聴覚士）の視点からコンサルテーション・助言をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ④ ST（言語聴覚士）として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑤ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントを適切に実践しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ ST（言語聴覚士）として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑦ 保護者に対して、ST（言語聴覚士）の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑧ 地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑨ 話す（発信）・聞く（受信）・食べる（摂食）等コミュニケーション全般について適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑩ 子どもの障害や特性と言語や発声、発音、聴覚、認知などの機能の状況に合わせた適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑪ 食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑫ 人工内耳、補聴器等の調整を医療と連携して行い、本人の生活しやすい状況の評価や環境調整についての適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

⑬ 聴力検査機器を使って聴力検査を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

⑭ 手話通訳士もしくは準ずる資格をもって適切に支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（ST（言語聴覚士））ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

（6）心理職

（サ）－1．貴事業所では、障害児支援に携わる心理職はいますか。

いる → 設問（サ）－2へ

いない → 設問（ス）－1へ

（サ）－2．障害児支援を行う心理職の数

① 総数 人

うち ②障害児支援の経験年数3か月未満 人

③障害児支援の経験年数3か月以上1年未満 人

④障害児支援の経験年数1年以上3年未満 人

⑤障害児支援の経験年数3年以上5年未満 人

⑥障害児支援の経験年数5年以上7年未満 人

⑦障害児支援の経験年数7年以上10年未満 人

⑧障害児支援の経験年数10年以上 人

（シ）次の内容について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員（心理職）が該当しますか。項目ごとに一つ選択してください。事業所で該当業務を行っていない場合は「該当なし」を選択してください。

注）経験年数は、心理職としての経験ではなく、障害児支援の経験をさします。

① 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、心理職としての専門性を発揮しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。

3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ② 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、心理職の視点から提案しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ③ 事業所内において、必要な時に、心理職の視点からコンサルテーション・助言をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ④ 心理職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑤ 心理職として標準化されたアセスメントを適切に実践しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ 心理職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑦ 保護者に対して、心理職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑧ 地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑨ 愛着形成の適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑩ 感覚認知発達の適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑪ 情緒行動の成り立ちの適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑫ 社会性コミュニケーションの適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑬ 環境との相互作用の視点から発達を総合的に捉えて適切な支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑭ カウンセリングの視点をもって家族支援を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑮ 保護者に対して適切にグループ支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑯ 不適切な養育に対する養育者への心理支援（カウンセリング・障害の受容・困難を抱える家族）・対応を適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（心理職）ですか。
 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

(7) 看護職

(ス)ー1. 貴事業所では、障害児支援に携わる看護職員はいますか。

- いる → 設問 (ス)ー2 へ
 いない → 設問 (ソ) へ

(ス)ー2. 障害児支援を行う看護職の数

- ① 総数 人
- うち ②障害児支援の経験年数3か月未満 人
③障害児支援の経験年数3か月以上1年未満 人
④障害児支援の経験年数1年以上3年未満 人
⑤障害児支援の経験年数3年以上5年未満 人
⑥障害児支援の経験年数5年以上7年未満 人

- ⑦障害児支援の経験年数7年以上10年未満 人
- ⑧障害児支援の経験年数10年以上 人

(七) 次の内容について、貴事業所では、何年以上（何か月以上）の障害児支援の経験を有する職員（看護職）が該当しますか。項目ごとに一つ選択してください。事業所で該当業務を行っていない場合は「該当なし」を選択してください。

注) 経験年数は、看護職としての経験ではなく、障害児支援の経験をさします。

- ① 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者の一員としてプログラムを共に作り支援を自ら行いつつ、看護職としての専門性を発揮しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ② 発達支援を行うクラス（グループ）の担当者として、クラスの子どもについての個別的な配慮を、同じクラスの他の職員に対して、看護職の視点から提案しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ③ 事業所内において、必要な時に、看護職の視点からコンサルテーション・助言をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ④ 看護職として個別の発達支援を担当し、プログラムを作成して適切に支援をしているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑤ 看護職として標準化されたアセスメントを適切に実践しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑥ 看護職として標準化されたアセスメントに基づいた子ども理解を他の職種にわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑦ 保護者に対して、看護職の視点からの子ども理解をわかりやすく伝えているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

- ⑧ 地域の保育園・幼稚園・学校等の関係機関への連携・支援を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑨ 個別に子どもの看護支援、医療的ケアを行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑩ 服薬管理、アレルギー・怪我や事故、緊急時対応を含む、健康管理を行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑪ 食べたり（摂食）、飲み込む（嚥下）などの困難がある子どもに対する支援を、適切に行っているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし
- ⑫ 職員を含む、事業所内全体の感染対策、緊急時対策、事故対策、健康管理などを実施しているのは、おおよそ何年以上（何か月以上）障害児支援の経験のある職員（看護職）ですか。
- 3か月以上 1年以上 3年以上 5年以上 7年以上 10年以上 該当なし

3. その他

(ソ) お気づきの点等ございましたら、ご記入いただけますと幸いです。

お忙しい中、調査へのご協力を誠にありがとうございました。研修に関する調査についてもご協力賜れば幸いです。

事業所で行っている研修についての実態調査

(事業所調査)

【ご回答方法】

■以下の Google フォームから回答をお願いします。

事業所で行っている研修についての実態調査



<https://forms.gle/QEkiKt7M45oKnYN97>

【ご回答上の留意点】

■本調査は、貴事業所の管理者様または児童発達支援管理責任者様にご回答をお願いいたします。回答は貴担当事業所内についてお考えください。

■調査は途中での一時保存はできません。 回答を開始する前に、調査票をご覧ください、回答を準備してから開始してください。

■1事業所あたり、回答は1回をお願いいたします。なお、同じ施設・事業名で重複回答があった場合には、新しいものを優先させていただきます。

■本調査は、2022（令和4）年9月16日（金）15時までにご回答をお願いいたします。

0 基礎情報について

基礎情報については、特に支障がない場合には、2022（令和4）年8月1日現在でご記入下さい。

(1) 事業所の種類

事業所の種類について選択してください。事業所番号単位で一つの事業所としてください。同一事業所番号で複数の事業を行っている場合はそれぞれチェックをいれてください。例) 児童発達支援と放課後等デイサービスを併せて行っている多機能型事業所の場合は「児童発達支援事業」「放課後等デイサービス事業」の両方にチェックを入れてください。

※事業所番号ごとに記入してください。 児童発達支援センター

児童発達支援事業

放課後等デイサービス事業

- 作業療法士
- 言語聴覚士
- 心理担当職員
- 看護職
- 社会福祉士
- その他 ()

(10)回答者

本調査の回答者の役職についてご回答ください。なお、本調査の回答は事業所の管理者または児童発達支援管理責任者のいずれかにてお願いいたします。

- ①管理者
- ②児童発達支援管理責任者

(11) 施設・事業所名

注) 本調査は、全体の傾向を把握するために実施しており、施設・事業所の個別状況を把握するものではありません。「施設・事業所名」は、重複登録の確認のみに用います。ご記載をお願いできればと思いますが、記載は任意です。

(12) 施設・事業所名 (ふりがな)

1. 事業所で行っている研修について

(1) 貴事業所では、令和3年度、障害児支援を行う者を主たる対象とする研修を何か行いましたか。なお、事業所として主体的に実施してなくとも、従業員が外部研修を受けるにあたって研修費を補助した場合も、「行った」に含みません。

行った → 設問2へ

行っていない → 設問9へ

2. 【研修①】研修時間と内容について

(1) 貴事業所の職員は、2022年7月の1か月間において、職員一人当たり、平均何時間、研修に参加しましたか。もっとも近いものを選択してください。職員が外部研修を受けるにあたって事業所が研修費を補助した場合も含みます。職員によってはらつきがある場合には、管理者からみた平均的な職員について回答してください。なお、2022年7月に特殊な事情があった場合には、該当月以外の平均的な実態がわかる1か月の状況について回答してください。

0時間（研修に参加していない） 0.5時間 1時間 2時間 3時間 4時間
5時間 6時間 7時間 8時間以上

(2) (1)の研修時間のうち、オンラインで実施したものはどの程度（何割）でしたか。

オンラインでは実施していない（すべて対面） 1割未満 1割～3割 3割～5割
5割～8割 8割以上 10割（すべてオンライン） 研修に参加した職員はいない

(3) 外部の団体等の研修の参加状況について教えてください。コロナ前の1年間（2018年4月～2019年3月の1年間）において、1年間あたり何人の職員が外部の団体等の研修に参加しましたか。実数ではなく、延べ数で回答してください。1人が5回研修に参加している場合は、「5」とカウントしてください。（半角数字）

(4) (3)で職員の参加した研修のうち、どの程度（何割程度）がオンライン研修でしたか。

1割未満 1割～3割 3割～5割 5割～8割 8割以上 10割
研修に参加した職員はいない

(5) 外部の団体等の研修の参加状況について教えてください。2021年4月～2022年3月の1年間（コロナ禍の1年間）において、1年間あたり何人の職員が外部の団体等の研修に参加しましたか。実数ではなく、延べ数で回答してください。1人が5回研修に参加している場合は、「5」とカウントしてください。（半角数字）

(6) (5)で職員の参加した研修のうち、どの程度（何割程度）がオンライン研修でしたか。

1割未満 1割～3割 3割～5割 5割～8割 8割以上 10割

研修に参加した職員はいない

(7) 研修内容（あてはまるものをすべて選択してください）

2021年4月～2022年3月の1年間（2021年度）において、貴事業所の職員が参加した研修について、該当するものをすべて選択してください。職員が外部研修を受けるにあたって事業所が研修費を補助した場合も含まれます。研修内容・項目については、おおよそ近いと思われる内容・項目であれば選択してください。

1. 制度

1. 制度
児童福祉法
障害福祉関連法
障害のある子どもの制度（障害者手帳と利用できる制度 等）
海外の発達支援の制度と動向
後見人制度

2. 発達支援

1. 発達段階の基礎
発達支援とは
乳幼児期の発達支援
学童期・青年期の発達支援
2. 障害特性について
障害特性について
3. 子どもへの介入
アセスメントに基づく支援
健康/生活
運動/感覚
認知/行動
言語コミュニケーション
人間関係/社会性
食事への支援・偏食対応
4. 医療的支援
成長・生理機能
医療的ケア
合併症
日常の健康管理
救急対応
遺伝

3. 家族支援

1.	家族支援の理念
	家族支援の定義
2.	障害受容
	妊娠期からの支援
	障害の受容
	きょうだい児
3.	支援方法
	事業所内相談支援・日々の情報共有
	基本カウンセリング
	メンタルヘルスケア
	グループワーク
	ペアレントトレーニング
	生活支援
4.	家族の虐待予防
	虐待について
	トラウマの影響
	社会的養護

4. 地域支援

1.	地域支援の理念
	地域支援の理念
2.	地域支援の実際
	センターの中核的な拠点機能
	保育所等訪問支援事業・地域療育等支援事業・居宅訪問型支援事業
3.	ソーシャルワーク
	他機関連携（児相・医療・学校等）
	ネットワーク
4.	協議会等
	自立支援協議会・要保護児童対策協議会

5. 発達支援者に求められる姿勢

1.	障害のある子どもの職員として
	障害のある子どもの支援者として
	ポジティブアプローチ
2.	支援者としての倫理

	倫理
3.	チームアプローチ
	チームアプローチ
4.	職員の虐待予防
	職員の虐待予防
	障害者虐待予防（身体拘束 等）
	アンガーマネジメント
5.	事例検討
	事例検討会
	アサーション

6. 事業運営・安全

1.	事業運営
	契約制度
	サービス提供の流れと事務手続き
	BCP 研修
2.	環境整備
	環境整備
3.	安全リスクマネジメント
	安全管理
	個人情報保護・守秘義務
	コロナ対応
	災害対策
	不審者対応
	送迎について
	職員のメンタルケア
	コンプライアンス
4.	マネジメント
	マネジメント
	職員育成
	会計表の読み方

7. その他研修

1.	その他研修 （例：IT 機器・療育技法・資格取得・アセスメント）

3. 児童発達支援センター・行政機関に提供してほしい研修について

- 今後、児童発達支援センター・行政機関において、地域の中で提供してほしい研修はありますか。優先度の高いものを、次の選択肢から10個以内で選択してください。なお、本質問の回答者が児童発達支援センターの場合には、地域の障害児支援の底上げのため、地域において提供すべきと思われる研修をご選択ください
- 下記には、「その他」を除いて65個の研修を載せています。
- 65個の研修は前述の設問2で聞いた研修内容と同じです。
- その他を除いて、10個以内選択してください。10個より少なくても構いません。

1. 制度

2. 制度	
	児童福祉法
	障害福祉関連法
	障害のある子どもの制度（障害者手帳と利用できる制度 等）
	海外の発達支援の制度と動向
	後見人制度

2. 発達支援

5. 発達段階の基礎	
	発達支援とは
	乳幼児期の発達支援
	学童期・青年期の発達支援
6. 障害特性について	
	障害特性について
7. 子どもへの介入	
	アセスメントに基づく支援
	健康/生活
	運動/感覚
	認知/行動
	言語コミュニケーション
	人間関係/社会性
	食事への支援・偏食対応
8. 医療的支援	
	成長・生理機能
	医療的ケア
	合併症
	日常の健康管理
	救急対応

	遺伝
--	----

3. 家族支援

5.	家族支援の理念
	家族支援の定義
6.	障害受容
	妊娠期からの支援
	障害の受容
	きょうだい児
7.	支援方法
	事業所内相談支援・日々の情報共有
	基本カウンセリング
	メンタルヘルスケア
	グループワーク
	ペアレントトレーニング
	生活支援
8.	家族の虐待予防
	虐待について
	トラウマの影響
	社会的養護

4. 地域支援

5.	地域支援の理念
	地域支援の理念
6.	地域支援の実際
	センターの中核的な拠点機能
	保育所等訪問支援事業・地域療育等支援事業・居宅訪問型支援事業
7.	ソーシャルワーク
	他機関連携（児相・医療・学校等）
	ネットワーク
8.	協議会等
	自立支援協議会・要保護児童対策協議会

5. 発達支援者に求められる姿勢

6.	障害のある子どもの職員として
	障害のある子どもの支援者として
	ポジティブアプローチ
7.	支援者としての倫理
	倫理

8.	チームアプローチ
	チームアプローチ
9.	職員の虐待予防
	職員の虐待予防
	障害者虐待予防（身体拘束 等）
	アンガーマネジメント
10.	事例検討
	事例検討会
	アサーション

6. 事業運営・安全

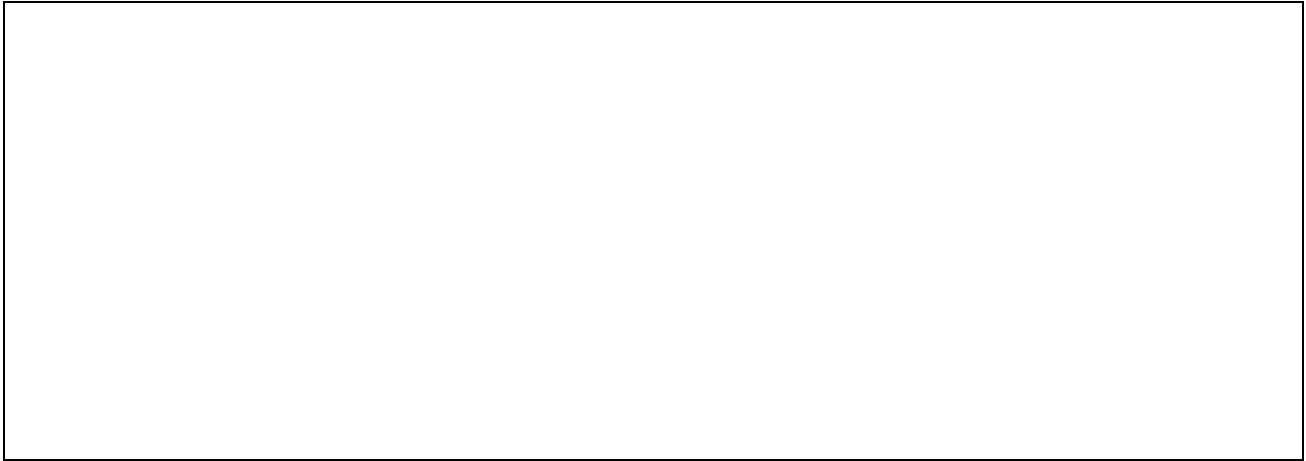
5.	事業運営
	契約制度
	サービス提供の流れと事務手続き
	BCP 研修
6.	環境整備
	環境整備
7.	安全リスクマネジメント
	安全管理
	個人情報保護・守秘義務
	コロナ対応
	災害対策
	不審者対応
	送迎について
	職員のメンタルケア
	コンプライアンス
8.	マネジメント
	マネジメント
	職員育成
	会計表の読み方

7. その他研修

2.	その他研修（例：IT 機器・療育技法・資格取得・アセスメント）

4. その他

お気づきの点等ございましたら、ご記入いただけますと幸いです。



お忙しい中、調査へのご協力を誠にありがとうございました。障害児支援を行う職員の実態調査についてもご協力賜れば幸いです。

現場の職員の困り感調査

(回答者：現場の職員様)

【ご回答方法】

1. 管理者様又は児童発達支援管理責任者様へ

- ① 貴事業所から3名程度の職員様（なるべく障害児支援の経験年数が異なる者）を回答者として選出の上、この調査表をお渡してください。
- ② 質問へは各職員様が直接回答するようお願いください。
- ③ 重複回答の確認のため、事業所名を任意で聞いておりますが、事業所名は重複回答の確認のみに用います。本調査は、現場の職員がどういったことに困っているか、全体的な傾向を把握するための調査です。施設・事業所・個人の個別状況を把握することは目的にしておりません。

2. 回答する職員様へ

- ① 本調査は、現場の職員がどういったことに困っているか、全体的な傾向を把握するための調査です。
- ② インターネットにつながるPCのほか、スマートフォンからも回答可能です。回答する職員様におかれては、本調査表をうけとりましたら、下記のURLをインターネット上で開く、又はQRコードをスマートフォンで読み取って、Googleフォーム上から回答をお願いいたします。



<https://forms.gle/M64Uy6qWwMSESGqLA>

【ご回答上の留意点】

■調査は途中での一時保存はできません。回答を開始する前に、調査票をご覧ください、回答を準備してから開始してください。

■回答は1人1回をお願いいたします。同じ方が何度も回答しないよう、お願いします。

■本調査は、2022（令和4）年10月20日（木）15時までにご回答をお願いいたします。

【本調査について】

■本調査は、任意調査です。

【内容に関するお問い合わせ】

一般社団法人 全国児童発達支援協議会

※推進事業 課題2 2 担当事務局※

E-MAIL: research22.cds@gmail.com

電話: 080-7618-7771 担当: 本池・北川 (電話対応は火・水・木曜日 13:30-17:30 のみ。)

0 回答者情報

(1) あなたの障害児支援の経験は何年(何か月)ですか。

※経験とは、障害児支援の経験を指します。他事業所における障害児支援の経験も含みます。

- 3か月未満 3か月以上1年未満 1年以上3年未満 3年以上5年未満 5年以上7年未満
 7年以上10年未満 10年以上

(2) あなたは次の資格のうちどれを所持していますか。

※選択肢以外の資格で、障害児支援に関連する一般的な資格をお持ちの場合には、その他に記載してください。

※複数回答可

- 保育士 児童指導員 教員免許(特別支援等の障害児に関わるもの) 教員免許(特別支援等以外)
 幼稚園教諭 社会福祉士 介護福祉士 精神保健福祉士
 看護師(准看護師、助産師、保健師含む) 公認心理師 臨床心理士 臨床発達心理士 学校心理士
 資格はもっていない
 その他障害児支援に関わる資格()

(3) 事業所の種類

あなたの所属する事業所の種類について選択してください。複数の事業を行っている場合はそれぞれチェックをいれてください。

- 児童発達支援センター
 児童発達支援事業
 放課後等デイサービス事業
 保育所等訪問支援
 居宅訪問型児童発達支援
 医療型児童発達支援
 その他()

(4) 施設・事業所名

注) 本調査は、全体の傾向を把握するために実施しており、施設・事業所・個人の個別状況を把握することは目的にしておりません。「施設・事業所名」は、重複登録の確認のみに用います。ご記載をお願いできればと思いますが、記載は任意です。

(5) 施設・事業所名（ふりがな）

1. 困り感の調査

次の内容について、該当するものを項目ごとに一つ選択してください。

該当業務を行っていない場合は「該当なし」を選択してください。

(1) 自分問題

- 子どもとの関係の中でネガティブな気持ちになる
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
- 自分と子どもの関わりを通して、自分について振り返り、見つめ直すことで生じる自分の問題（トラウマ等）
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
- 自分の価値観と支援の在り方のギャップについて
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
- 身体上・健康上の問題（体力がなくて子どもが追いかけられない、腰が痛い等）
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

(2) 発達支援（本人との関わり）

※特定の子どもに困らされている等の子ども自身に対する困り感ではなく、障害児を支援する者として適切な支援をする上での困り感について回答すること。

例：支援にあたっての知識・方法・技術・経験等の不足（適切な支援・方法がわからない、知識があってもうまくできない等）

- 障害とは何かについて理解し、適切な対応（支援）を行う
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
- 発達支援の意味について理解し、適切な対応（支援）を行う
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
- 個々のこだわりへの対応
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
- こどもの気持ちのくみ取り
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
- 受け止めるところと、導くところの境界線
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
- その子に合った学習支援について
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
- 指示が入りにくい子どもへの対応の難しさ
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

8. 子ども同士のトラブルの対応
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
9. 次のプログラムへの切り替えが難しい子どもへの対応
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
10. 子どもがパニックや癇癪を起こしたときのクールダウンのさせ方
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
11. 子どもとのコミュニケーションの難しさ
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
12. 実施した発達支援の妥当性への悩み・不安
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
13. 専門知識の不足について（子どもの見立て、支援内容、方向性、目標設定など）
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
14. プログラム、スケジュール、課題を考えること
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
15. 発達段階を見立てて、どのような関わりや方法がいいのか
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
16. 小さな子から中学生まで、重度の子から中学生の学習支援まで、個人で担当する発達支援の幅が広すぎることに
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
17. 集会のリーダーをした時の子どもの注意の集め方
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
18. 絵本など視覚教材の用い方
とても困っている 時々困る 困ることはあまりない 困ることはない 関係業務を行っていない
19. 支援教材づくりの難しさ
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
20. 手遊びのやり方
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
21. 大きな声を出す、動き回る、離席する等の集団参加が難しい子がいる場合の適切な対応の仕方（本人、集団、他児童の配慮含む）
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
22. 子どもから暴言暴力を受けた時の適切な対応の仕方
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
23. 子どもへの他害、自傷行為への対応
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
24. 散歩等で子どもの安全を守ること
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
25. 食事の支援
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
26. 排泄、着脱等（食事を除く）の日常生活動作の支援

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

(3) 地域支援

1. 外部機関との連携の難しさ

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

2. 地域資源がなくて繋がられない

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

(4) 家族支援

1. 保護者との関係づくりが難しい

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

2. 子どもが怪我をしたときの保護者への対応

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

3. 保護者と支援者との間の子どもに対する認識のズレ

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

4. 困り感（外国籍や知的障害、精神疾患等）のある保護者とのコミュニケーションの難しさ

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

5. 批判的な保護者との関係づくり

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

6. 不適切な子育てをしている保護者への支援

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

7. 事業所内面談の時間をとるのが難しい

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

8. 子ども本人だけでなく家族も含めて支援していくことの難しさ

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

(5) 支援をとりまく環境について

1. 事業所（組織）の方針が理解できない

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

2. ほかの職員や上司、部下との情報共有

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

3. 建物の構造

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

4. 教材・設備が限定的であること

とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

5. 同じ事業所の人間でも、発達支援を専門に長期にわたり行っているものがないため、相談しても不安が常に付きまとう

- とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
6. 発達支援のケースカンファレンスで議論ができない、自分の意見が言えない
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
7. 支援の後片付けや整理と次の計画と準備に必要な時間がとれない
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
8. 人員不足
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
9. 日々の発達支援がマンネリ化している。
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
10. 職場内の人間関係に関する悩み
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない
11. 研修が足りない
とても困っている 困っている あまり困っていない 全く困っていない 関係業務を行っていない

お気づきの点等ございましたら、ご記入いただけますと幸いです。

お忙しい中、調査へのご協力を誠にありがとうございました。

各職種の支援の実態調査

(回答者：管理者様または児童発達支援管理責任者様)

【ご回答方法】

■インターネットにつながるPCのほか、スマートフォンからも回答可能です。下記のURLをインターネット上で開く、又はQRコードをスマートフォンで読み取って、Googleフォーム上から回答をお願いいたします。



<https://forms.gle/JHkTcjioXZesbJ6J9>

【ご回答上の留意点】

■本調査は、貴事業所の管理者様または児童発達支援管理責任者様にご回答をお願いいたします。回答は貴担当事業所内についてお考えください。

■調査は途中で一時保存はできません。 回答を開始する前に、調査票をご覧ください、回答を準備してから開始してください。

■1事業所あたり、回答は1回でお願いいたします。なお、同じ施設・事業名で重複回答があった場合には、新しいものを優先させていただきます。

■本調査は、2022（令和4）年10月20日（木）15時までにご回答をお願いいたします。

【本調査について】

■本調査は、各職種の支援の実態を把握するための調査です。貴事業所の実態（実際にやっていること）についてご回答をお願いいたします。

【内容に関するお問い合わせ】

一般社団法人 全国児童発達支援協議会

※推進事業 課題22担当事務局※

E-MAIL： research22.cds@gmail.com

電話： 080-7618-7771 担当：本池・北川

(電話対応は火・水・木曜日 13:30-17:30 のみ。)

0 基礎情報について

基礎情報については、特に支障がない場合には、2022（令和4）年9月1日現在でご記入下さい。

(1) 事業所の種類

事業所の種類について選択してください。事業所番号単位で一つの事業所としてください。同一事業所番号で複数の事業を行っている場合はそれぞれチェックをいれてください。例）児童発達支援と放課後等デイサービスを併せて行っている多機能型事業所の場合は「児童発達支援事業」「放課後等デイサービス事業」の両方にチェックを入れてください。

※事業所番号ごとに記入してください。

- 児童発達支援センター
- 児童発達支援事業
- 放課後等デイサービス事業
- 保育所等訪問支援
- 居宅訪問型児童発達支援
- 医療型児童発達支援
- その他（ ）

(2) 重症心身型の指定の有無

- 指定あり
- 指定なし

(3) 事業所の所在地（都道府県）

(4) 事業所の所在地（市区町村）

例）〇〇市、〇〇町、〇〇村、〇〇区（東京都23区の場合のみ）

(5) 事業所の定員数

多機能型の場合や重症心身型などすべて併せた定員数を回答ください。

- ~10名 11名~20名 21名~30名 31名~40名 41名~50名 51名~

(6) 事業所の開設年

プルダウンで選択（1970~2022）

(7) 運営主体

- 自治体 社会福祉法人（社会福祉事業団、社会福祉協議会を除く） 株式会社
- NPO法人 合同会社 一般社団法人 有限会社

その他 ()

(8) 行える医療行為

喀痰吸引 経管栄養 人工呼吸器 酸素療法

医ケア児を受け入れる準備はあるが在籍はない 医ケア児の受け入れは行っていない

その他 ()

(9) 職員配置 (管理者・児発管を除く直接支援職員)

配置されている職員をすべて選択してください。

保育士

児童指導員 (機能訓練担当や看護職含まず)

理学療法士

作業療法士

言語聴覚士

心理担当職員

看護職

社会福祉士

その他 ()

(10) 回答者

本調査の回答者の役職についてご回答ください。なお、本調査の回答は事業所の管理者または児童発達支援管理責任者のいずれかにてお願いいたします。

①管理者

②児童発達支援管理責任者

(11) 施設・事業所名

注) 本調査は、全体の傾向を把握するために実施しており、施設・事業所の個別状況を把握するものではありません。「施設・事業所名」は、重複登録の確認のみに用います。ご記載をお願いできればと思いますが、記載は任意です。

(12) 施設・事業所名 (ふりがな)

1. 質問

(1) 本人支援

各職種は本人支援にどのようにコミットしていますか。該当するものを職種ごとにチェックしてください。該当業務を行っていない、該当する職種がない等、該当する選択肢がない場合には、選択不要です。

	PT	OT	ST	心理職	看護職	児童指導員	保育士
運動発達							
運動障害（麻痺、形成不全等）							
上肢機能・操作性・巧緻性							
姿勢管理							
車椅子・座位保持							
装具							
ADL							
感覚統合							
目と手の協応							
道具の操作							
眼球運動							
摂食機能							
話す							
聞く							
コミュニケーション							
発声							
発音・構音							
人工内耳・補聴器							
手話							
サイン言語							
聴力検査							
発達検査・知能検査							
その他の心理検査							
社会性の育ち							
発達にあった遊びの構築							
認知機能							

(2) 集団活動

各職種は集団活場にどのようにコミットしていますか。該当するものを職種ごとにチェックしてください。
該当業務を行っていない、該当する職種がない等、該当する選択肢がない場合には、選択不要です。

	PT	OT	ST	心理職	看護職	児童 指導員	保育士
集団活動の行動観察							
生活環境の観察							
集団活動への参加							

(3) 保護者

各職種は保護者支援にどのようにコミットしていますか。該当するものを職種ごとにチェックしてください。
該当業務を行っていない、該当する職種がない等、該当する選択肢がない場合には、選択不要です。

	PT	OT	ST	心理職	看護職	児童 指導員	保育士
発達状態の説明							
家庭での関わり、家庭生活 へのアドバイス							
障害の理解、受容							
カウンセリング							
研修							
情報提供							
虐待予防を念頭においた対 応やアドバイス							

2. その他

お気づきの点等ございましたら、ご記入いただけますと幸いです。

--